愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

後期ゼミでは、前期で学んだ「消費者心理と組織のあり方」を、皆さん一人一人の個人に落とし込んで考えていきます。自身のアイデンティティと、職業人として「どうありたいか」を自身に問いかけてもらいます。最終的に自身の興味と適性を把握し、より自分らしく社会貢献できる社会人としての道を、模索して頂きます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	学外活動・講義・演習の方法をとります。 グループワークや、必要に応じてディスカッションも交えながら進めていきます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	後期ゼミの運営方法についてルールの説明と相談 全体スケジュール共有、夏季IS体験共有会	□
第2回	キャリア形成：基本の「き」	キャリア形成の大きなポイント：「やりたい事と得意なこと」	□
第3回	組織が求める人材Ⅰ[理論編]	求めるものと求められるもの？：「採用試験は恋愛だ！」	□
第4回	組織が求める人材Ⅱ[ワーク1]	業界別グループで、組織が求める人物像についてディスカッションしていきます。	□
第5回	組織が求める人材Ⅲ[ワーク1]	ワーク1の結果を踏まえ、自身の志望する会社や業界と、現時点での自分との間の乖離を確認する。	□
第6回	組織が求める人材Ⅳ[報告会]	ワーク2の学びを生かしながら、全体で結果を共有する。	□
第7回	実践活動Ⅰ：ESを作成してみよう	自己PRに使える材料をピックアップし、志望する会社や業界に合わせた「ストーリー」を作成しよう。	□
第8回	実践活動Ⅱ：合同マナー講習会参加	ゼミ生全員で合同マナー講習会参加 ※オンラインorリアル	□
第9回	実践活動Ⅲ：合同マナー講習会振り返り	自信のできているところ、できていないところを確認し、ペアで練習し合うワークを実施。	□
第10回	実践活動Ⅳ：合同マナー講習会成果報告会	全員で就活マナーをひと通り実践、最終確認する。	□
第11回	自己分析Ⅰ：適性検査を用いた自己分析を行います。	職業適性検査を用いた自己分析を行います。「好き」と「できること」を見ていきます。	□
第12回	自己分析Ⅱ：ワーク	自身の適性検査結果を見て、改めて興味のある仕事や業界とマッチするか検討する。	□
第13回	行動計画Ⅰ	志望する企業や業界の採用スケジュールを確認（秋季・冬季早期選考・企業説明会・インターンシップ・採用試験時期について）	□
第14回	行動計画Ⅱ	冬季休暇中の早期選考・企業説明会・インターンシップ・採用試験時期について確認。参加にあたっての注意事項。	□
第15回	まとめ	前期の振り返りとまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日常的に組織のビジネス戦略や働いている人材像について、興味関心を持つこと。 【事前学習】授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと（2時間程度）。 【事後学習】学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出したレポート等は適宜添削し、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	組織において、求められる人物像やスキルを理解し、自分が習得すべき能力を把握して行動することができる。社会人として必要な態度やマナーを理解し、TPOに合わせたふさわしい振る舞いができる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域の組織にできる事と、地域の組織にしかできない事を把握し、自身のキャリアがどちらの組織において、社会貢献できるかを考えることができる。自身のこれまでの経験が、目指したい組織でどのように生かせるか考え、行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内の積極的提言・課題レポート・発表の3点で評価します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ授業の中で書籍を紹介したり、プリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		